

SS-520 5号機による超小型衛星打上げ実証の実験予定日について

平成30年1月19日

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）は、SS-520 5号機による超小型衛星打上げの実証実験について、搭載部品の一部に不具合が確認されたため、平成29年12月28日の実施を見合わせておりましたが、原因究明・対策を行い、下記のとおり実験予定日を決定しましたのでお知らせいたします。

記

- 実験予定日 : 平成30（2018）年2月3日（土）14時00分頃～14時20分頃（日本標準時）（※1）
- 実験期間 : 平成30（2018）年2月3日（土）～平成30（2018）年2月12日（月）（※2）
（実験予備期間を含む）
- 実験場所 : 内之浦宇宙空間観測所（鹿児島県肝属郡肝付町）

天候その他の理由で上記日時に実験を実施できないと見込まれる場合は、速やかにお知らせします。

- ※1 実験予定時刻は今後の詳細解析により最終的に決定します。
- ※2 実験予備期間中の実験予定時刻は、実験日毎に設定します。

SS-520 5号機並びに搭載ペイロード（TRICOM-1R）について

SS-520 5号機について

SS-520 5号機主要諸元
（右画像は SS-520 4号機のもの）

- 全長 : 9.54 m
直径 : 0.52 m（代表径）
全備重量 : 2.6 ton
燃料 : 固体燃料
段構成 : 3 段式
打上げ能力 : 低軌道に 4kg 以上
打上げ場所 : 内之浦宇宙空間観測所
打上げ方式 : ランチャ滑走方式
（吊下げ式）



SS-520 5号機は、観測ロケットとして運用している SS-520 に 3 段を搭載した改良型の小型ロケットです。



SS-520 4号機 実験の様子©JAXA